

令和5年度 学校経営計画

大田区立おなづか小学校
校長 酒井 敬子

I 教育目標

○よく考える子

- ・主体的に取り組む姿勢、論理的に深く考える力を身に付け、豊かに表現できる児童を育てる。
- ・学力の基礎・基本を確実に身に付けるとともに、既習事項や経験を生かして物事を発展的に考える児童を育てる。

◎思いやりのある子

- ・自己肯定感をもつとともに、他者を尊重する豊かな心を持ち、人にやさしくできる児童を育てる。
- ・異年齢、異文化等、自分以外の価値観を認め合って仲良くできる児童を育てる。

○明るくじょうぶな子

- ・心身ともに健康であることを目指し、目標をもって粘り強く運動に取り組む児童を育てる。

II 目指す学校像

「明日も行こう」と思える楽しい学校

◇授業が楽しい：わかる授業・学習意欲がわく工夫された授業

◇運動が楽しい：「できた！」の実感がもてる授業・遊びの要素から技能の習得

◇学校での生活が楽しい：良好な人間関係・やりがいのある活動・認められる自分

○児童

教育目標の通り

○教職員

児童・保護者・地域から信頼され、やる気とやりがいをもって児童の教育を行う教職員

○施設

安全で使いやすく、整然と整った環境・施設

○学校全体

児童も教職員も凡事徹底（当たり前のことを徹底的に行う）することで、大きな問題や服無事故の起きない落ち着いた学級・学校

【当たり前のこと】

児童：挨拶をする・勉強をする・掃除をする・感謝をする・悪いことをしたら素直に謝る
目標に向かって行動する 等

教職員：危機管理意識を高くもつ（児童トラブル、保護者対応、服務関係）・社会人としてのマナーを忘れない・報・連・相の徹底をする。（管理職へは特に）

Ⅲ 学校経営目標

1 【豊かな心の育成】

- ① 校内研究を通して、児童の自己肯定感や自己有用感を育む。学級や学校内で自分の役割を意識させた活動を意図的・計画的に行う。(係活動・話し合い活動・委員会活動・縦割活動など)
- ② 道徳教育を推進する。他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。
- ③ コミュニケーションの第一歩である挨拶を大切に、年間を通して児童・保護者・地域に働きかける。
- ④ サポートルームの充実による、学級への支援やユニバーサルデザインの授業を推進する。

2 【学力の向上】【未来社会を創造的に生きる子どもの育成】

- ① 昨年度までの校内研究の実践を生かして、主体的・対話的で深い学びや、既習事項や経験を生かして物事を発展的に考える力を身に付けさせる。
- ② 授業に積極的に ICT を活用し、児童の情報活用能力の育成を図るとともに、児童が分かりやすい授業を展開し、学力の向上を目指す。
- ③ ドリル学習や小テストを確実に行ったり、家庭学習を定着させたりすることで基礎的・基本的な学力を身に付けさせる。
- ④ キャリア教育を推進する。自らの学習状況やキャリア形成を見直すために、目標設定・実践・振り返りのプロセスを記録した「キャリアパスポート」を作成し、新たな目標に向かってチャレンジする力を育てる。
- ⑤ 環境教育を推進する。環境問題を考える「きっかけ」として全校でエコキャップ回収活動を行い、環境問題を自分事として考える意識を醸成していく。

3 【体力の向上と健康の増進】

- ① 充実した学校生活を送れるように、「早寝・早起き・朝ごはん」を児童や保護者に啓発し実践させる。
- ② 体育学習を充実させる。目標設定や振り返るための時間を設定したり、めあてカード等を用いて進捗状況を確認したりすることで、目標に向かって粘り強く取り組み、人と関わり合いながら主体的に学ぶ態度を育てる。また、「体育嫌い」を作らないために指導方法を工夫する。
- ③ コロナ禍で低下した体力の向上を目指し、短縄跳びや持久走、朝の「フリー・ジョイ・ランニング」等、一人ひとりが目標を立てて粘り強く取り組める活動内容を考え実践させる。

4 【魅力ある教育環境づくり】【学校・家庭・地域が一体となっても進める教育】

- ① 校内OJT組織を活用して、児童・保護者の信頼を得るために、授業力や保護者対応力、カウンセリングマインド等の向上を図る。
- ② 安全点検や清掃活動等を確実にを行い、整然と整った環境・施設を保持する。
- ③ 凡事徹底することで落ち着いた学級経営を行い、また絶対に服無事故を起こさない学校にする。
- ④ 学校の様子を保護者や地域に広く公開し、学校のことを理解していただく。そのためにホームページは週3回の更新を目指す。
- ⑤ 「チームおなづか」の気持ちで、全教職員・保護者・地域全体で全児童を指導する。